

バイオ分子センサー研究会

日時： 2006 年 6 月 26 日 13 時 50 分－18 時

2006年6月27日 9時－12時

場所： 岡崎カンファレンスセンター（小会議室）

代表： 富永真琴（岡崎統合バイオサイエンスセンター）

所内対応：岡村康司（岡崎統合バイオサイエンスセンター）

6 月 2 6 日

13:50-14:00 バイオ分子センサー研究開催にあたって

14:00-16:10 Session I

1) 14:00-14:30

「温度センサーTRP チャネルの構造と機能」

岡崎統合バイオサイエンスセンター・細胞生理研究部門

富永真琴、柴崎貢志、富樫和也、稲田仁、曾我部隆彰、Sravan Mandadi、東智広、
村山奈美枝、富永知子

2) 14:30-14:50

「膜電位依存性酵素 Ci-VSP の酵素活性」

岡崎統合バイオサイエンスセンター・神経分化研究部門

岩崎広英、村田喜理、岡村康司

3) 14:50-15:10

「電位センサードメイン蛋白の多様性とメカニズム」

岡崎統合バイオサイエンスセンター・神経分化研究部門

岡村康司、村田喜理、岩崎広英、佐々木真理、Israil Hossain、黒川竜紀、高木正浩

4) 15:10-15:40

「一人三役の光センサー蛋白、光活性化アデニル酸シクラーゼ (PAC) の分子内ドメイン相互作用による光活性化機構」

総合研究大学院大学・先端科学研究科 渡辺正勝

5) 15:40-16:10

「コレステロール代謝センサーLXR による細胞増殖の制御」

日本大学医学部・生化学 榎島誠、川名克芳

16:10-16:40 Break

16:40-18:10 Session II

6) 16:40-16:55

「酸感受性アニオンチャネルとその酸誘導性細胞死における役割」

生理学研究所・機能協関研究部門 清水貴浩、王海燕、岡田泰伸

7) 16:55-17:10

“Glutamate Release via Stress-sensor Anion Channels from Mouse Astrocytes”
Department of Cell Physiology, National Institute for Physiological Sciences
Hong-tao Liu, Hana Inoue, Ravshan Z. Sabirov and Yasunobu Okada

8) 17:10-17:40

「 Na^+/H^+ 交換輸送体の調節因子CHPの構造とpHセンシング機構」
国立循環器病センター研究所・循環分子生理部 若林繁夫

9) 17:40-18:10

「後根神経節細胞の P2Y_2 受容体と機械刺激応答」
¹ 国立医薬品食品衛生研究所・薬理部、² 九州大学大学院・薬学研究院
小泉修一¹、津田 誠²、井上和秀²

18:15- 懇親会（岡崎カンファレンスセンター、中会議室）

6月27日

9:00-10:00 Session III

10): 9:00-9:30

「バゾプレッシン分泌ニューロンへのシナプス入力：アンギオテンシン II およびカンナビノイドの効果」
産業医科大学医学部・第1生理学 上田陽一

11) 9:30-10:00

「脳内 Na^+ センサー Na_x がグリアのグルコース代謝を調節する」
基礎生物学研究所・統合神経生物学研究部門
檜山武史、清水秀忠、渡辺英治、長倉彩乃、野田昌晴

10:00-10:30 Break

10:30-12:00 Session IV

12) 10:30-11:00

「匂いとフェロモンのセンサー」
東京大学大学院・新領域創成科学研究科 東原和成

13) 11:00-11:30

「発達・障害時における細胞内 Cl^- 調節機構の変化と GABA 応答のモーダルシフト」
生理学研究所・生体恒常機能発達機構研究部門
鍋倉淳一、渡部美穂、和気弘明

14) 11:30-12:00

「センサー機能のモーダルシフトによる触覚受容の病的変化のメカニズム」
東京医科歯科大学大学院・認知行動医学系・細胞薬理学分野 田邊 勉